

第76期 中間報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第76期上半期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の事業概況をご報告申し上げるとともに、中期経営計画の進捗についてご説明させていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

代表取締役社長執行役員

高橋秀彰



事業の概況

当上半期の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う停滞からいち早く脱した中国が力強さを発揮し、ワクチン接種が進む米国では国内航空需要が回復傾向を見せる等、一部地域では明るさを取り戻しつつあります。しかしながら、世界的な半導体不足による自動車の減産等も続く中、先行きの不透明感が強まっております。

このような環境下でありまして、当社グループは各分野の受注確保と拡販に努めるとともに新製品の開発と用途拡大に取り組んでまいりました。その結果、当社グループの当上半期の売上高は、188.1億円となりました。損益につきましては、営業利益は4.6億円、経常利益は7.3億円となりました。

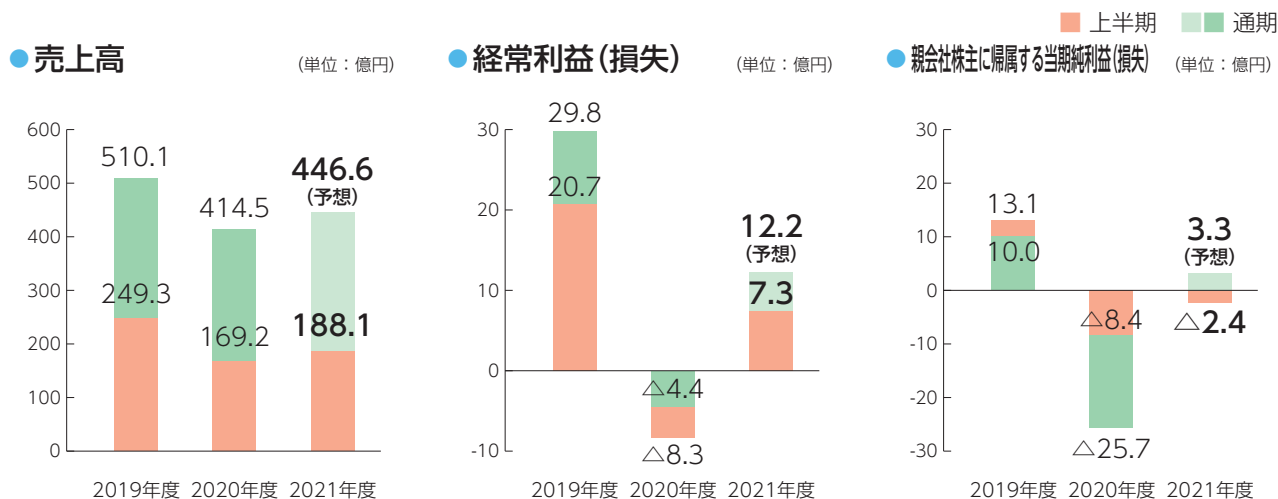
なお、2019年12月に発覚した高圧ガス保安法に基づく登録特定設備製造における不適切事案に関連して、該当製品に関わる顧客への補償等の交渉が進展したことに伴い、顧客補償等対応費用引当金繰入額として12.2億円を特別損失に計上し、親会社株主

に帰属する四半期純損益は△2.4億円となりました。

通期の連結業績予想につきましては、航空宇宙・ICT事業の増収により、産業機器事業の減収をカバーし、売上高は前回予想通り446.6億円となる見込みです。損益面では、対米ドル為替レートが想定より円安で推移したことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う活動制限が続き、経費が抑制されたこと等により、営業利益は11.4億円、経常利益は12.2億円と前回予想を上回る見込みですが、親会社株主に帰属する当期純利益は、前述の特別損失を計上したこと等に伴い、前回予想通り3.3億円となる見込みです。

配当につきましては、安定的かつ継続的な株主への配当を基本方針としておりますが、誠に遺憾ながら2021年度は中間配当は無配とさせていただきます。なお、期末配当は1株当たり25円を予定しております。

連結業績ハイライト

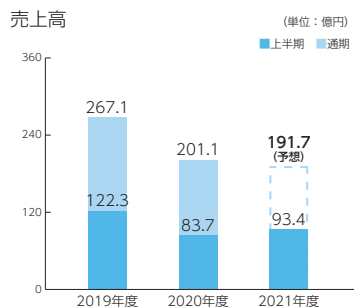


(注) 2021年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、2021年度業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額としております。

セグメント別概況



航空宇宙事業

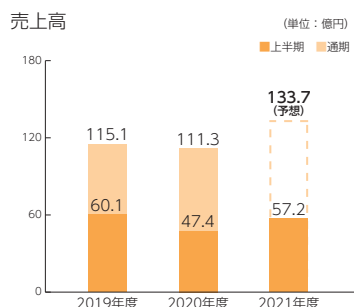


防衛省向け航空機器の販売が上半期に集中したに加え、民間航空機向け機器は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から一部需要が回復してきたことにより、売上高は93.4億円、営業損益は△0.4億円となりました。



当社の航空機エンジン用熱交換器が搭載されたロールス・ロイス社製のTrent 1000[®] エンジン

産業機器事業

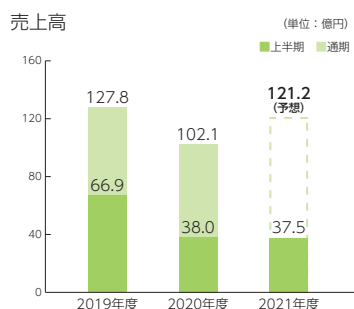


精密油圧機器は、主力とする中国の射出成型機向けの需要が増加し、収益認識基準変更に伴う熱交換器の減収影響をカバーしたことにより、売上高は57.2億円、営業損益は5.7億円となりました。



従来ポンプの特徴である低騒音・低脈動・高耐久性を確保し、高速運転化・小型軽量化を実現したQSポンプ

ICT事業



半導体向けオゾン発生装置及びMEMS・半導体製造装置の需要が増加するも、当年度は販売が下期偏重傾向になり、売上高は37.5億円となりました。営業損益はMEMS・半導体製造装置において、国内向けが減少し、海外向けが増加したことに伴う構成変化により、△0.6億円となりました。



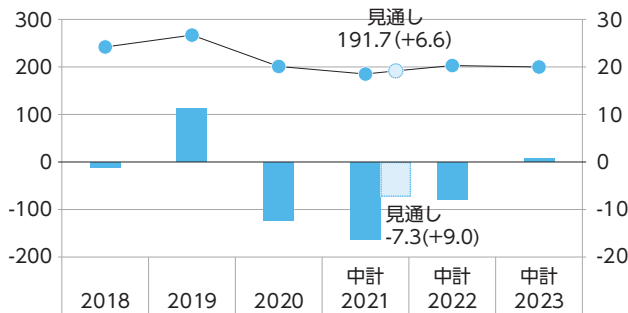
高精度なMEMS慣性センサを搭載し、方位角と姿勢角を検出するノースファインダー™ [GCAH-1X]

2021-2023年 中期経営計画・現況と見込み



航空宇宙

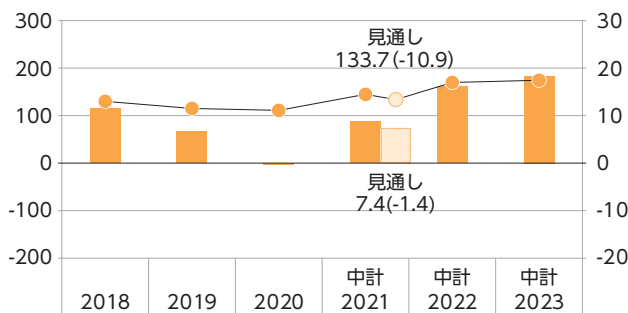
折線:売上高(左軸)、棒グラフ:営業損益(右軸)
(億円)



現況と将来の見込み	
航空宇宙 熱交・ 脚関連	・民間航空機向けは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が底を打ち、今後、中小型機の需要回復は続く。大型機の需要回復は'24年度以降を見込む。
	・連結子会社の整理統合による合理化を推進中。
	・生産・調達プロセスの改善活動を継続。
	・3Dプリンティング技術の徹底的研鑽。

産業機器

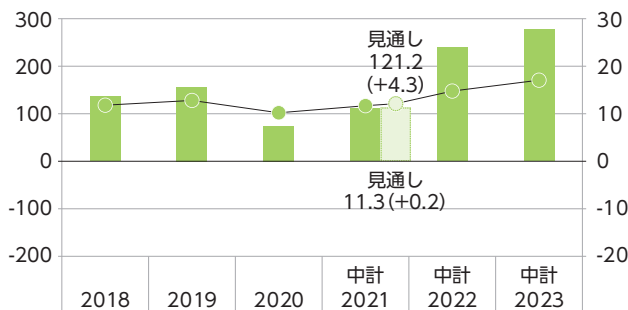
折線:売上高(左軸)、棒グラフ:営業損益(右軸)
(億円)



現況と将来の見込み	
産業熱交換器	・プラント用熱交換器の取引再開が想定より遅れているが、'21年度中に全面再開し、'22-'23年度計画を実現する。
	・高速通信インフラの発達、輸送機電動化を背景に、電子部品冷却需要が上向き、更に放熱ソリューション市場への拡販を進める。
	・水素関連向け等、当社熱マネジメント技術を活用した引き合いに対応中。
精密油圧機器	・'21年度上期好調、下期に中国における射出成型機市場減速による需給調整の局面に入るが、景気の減速は一時的であり、'22-'23年度計画達成の見込み。

ICT

折線:売上高(左軸)、棒グラフ:営業損益(右軸)
(億円)



現況と将来の見込み	
ICT	MEMS・半導体製造装置事業/オゾン発生装置事業 ・半導体市況は好調なるも、部品調達の高納期化が共通課題。 ・'22年度以降の当社ターゲット市場の鈍化は見られず現時点推定は上向き。
	MEMSデバイス/応用製品事業 ・単結晶 PZT 薄膜の開発・販売開始。
	MEMSデバイス製造 (ファンドリ) 事業 ・好調な市況を背景に、エンジニア・設備・スペース等社内体制を構築し、新規顧客向けに対応する。
	ICT市場へのさらなる事業拡大に向け、統合戦略室(MEMSソリューション室)を設置

連結財務諸表（要約）



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 (2021年3月31日現在)	当上半期末 (2021年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	58,418	55,588
固定資産	24,143	25,009
有形固定資産	15,039	15,359
無形固定資産	1,603	1,911
投資その他の資産	7,500	7,738
資産合計	82,561	80,597
負債の部		
流動負債	42,875	40,559
固定負債	12,967	13,618
負債合計	55,843	54,177
純資産の部		
株主資本	25,803	25,267
資本金	10,311	10,311
資本剰余金	11,350	11,350
利益剰余金	4,244	3,709
自己株式	△ 104	△ 104
その他の包括利益累計額	435	543
その他有価証券評価差額金	227	246
為替換算調整勘定	△ 458	△ 354
退職給付に係る調整累計額	666	650
非支配株主持分	479	608
純資産合計	26,718	26,419
負債純資産合計	82,561	80,597

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前上半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当上半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
売上高	16,929	18,818
売上原価	13,334	14,124
売上総利益	3,594	4,693
販売費及び一般管理費	4,246	4,226
営業損益 (△は損失)	△ 651	467
営業外収益	169	509
受取利息	1	2
受取配当金	9	9
為替差益	—	172
持分法による投資利益	90	51
補助金収入	—	167
その他	67	106
営業外費用	353	240
支払利息	99	100
固定資産廃棄損	—	112
為替差損	92	—
納期遅延損害金	120	1
その他	40	26
経常損益 (△は損失)	△ 835	737
特別利益	96	314
投資有価証券売却益	—	296
固定資産売却益	96	17
特別損失	—	1,219
顧客補償等対応費用引当金繰入額	—	1,219
税金等調整前四半期純損益 (△は損失)	△ 739	△ 167
法人税等	88	△ 26
四半期純損益 (△は損失)	△ 827	△ 141
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	98
親会社株主に帰属する四半期純損益 (△は損失)	△ 843	△ 240

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前上半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当上半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 701	2,245
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 786	△ 1,088
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,063	△ 3,113
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 21	94
現金及び現金同等物の増減額	1,553	△ 1,861
現金及び現金同等物の期首残高	8,138	12,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,692	10,265

(注) 記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

会社概要

(2021年9月30日現在)

■ 商号	住友精密工業株式会社 Sumitomo Precision Products Co., LTD.
■ 設立	1961 (昭和36) 年1月
■ 資本金	103億11百万円
■ 従業員	単独:1,084名 連結:1,779名 (2021年3月31日現在)
■ 本社・工場	〒660-0891 兵庫県尼崎市扶桑町1番10号 電話 (06) 6482-8811
■ 東京本社	〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋一丁目2番2号 住友商事竹橋ビル4階 電話 (03) 3217-2810
■ 滋賀工場	〒525-0044 滋賀県草津市岡本町1000番地15
■ 和歌山工場	〒640-8404 和歌山県和歌山市湊1850番地
■ 尼崎向島工場	〒660-0835 兵庫県尼崎市東向島東之町1番地
■ 名古屋営業所	〒448-0857 愛知県刈谷市大手町2番29号 INOビル4F

取締役、監査役及び執行役員

代表取締役社長執行役員	高橋 秀 彰	常務執行役員	綾 仁 正 人
代表取締役専務執行役員	出口 雅 敏	常務執行役員	石 丸 正 吾
取締役専務執行役員	板 倉 健 郎	執行役員	南 宏 明
取締役専務執行役員	速 水 利 泰	執行役員	矢 田 毅
社外取締役	川 村 群 太 郎	執行役員	八 木 正 一
社外取締役	三 坂 重 雄	執行役員	田 中 雅 彦
常任監査役(常勤)	高 橋 步	執行役員	小 山 健
社外監査役	森 恵 一		
社外監査役(常勤)	西 河 康 志		

(注) 当社は、川村群太郎、三坂重雄、森 恵一及び三原秀章の各氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株主へのご参考

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	(1)定時株主総会・期末配当金 3月31日 (2)中間配当金 9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告した基準日。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(ウェブサイトアドレス)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告の方法	電子公告 (https://www.spp.co.jp) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

ウェブサイトのご紹介

住友精密グループを総合的にご理解いただくために、当社ウェブサイトをご参照ください。

<https://www.spp.co.jp>

株主・投資家情報 (IR) ページでは、最新の中期経営計画や業績などのIR情報を随時更新しております。



UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。